

労働災害の約8割は、停車時に発生

停車中の危険は、すぐ側に

ウイングルーフに挟まれ編

労働災害は、いつ発生するか分かりません。しかし、事前の対策によりその多くは防止できるでしょう。今回はトラック荷台のウイングルーフが自重で降りてきて、アオリとの間に挟まれてしまった災害例および対策を紹介します。

災害例

ウイングルーフとアオリとの間に挟まれた

作業者は、トラック荷台のウイングルーフを上げ、荷台に頭を入れて積み荷の状態を確認していたところ、降りてきたウイングルーフとアオリに挟まれた。



原因

- ウイングルーフは油圧で駆動させるが、その作動油が劣化していた
- シリンダー内のOリングが摩耗していた

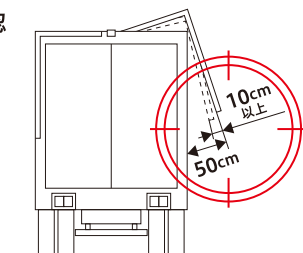
対策

- 作業を監視する者を配置したり、強固な安全支柱でウイングルーフを支える
- 取扱説明書の記載事項に従い、作動油の点検・補充、および交換を行う
- 作業者に対し、ウイングルーフの構造や点検作業に関する教育を行う

ウイング車を安全に使用するために、定期的に点検・オイル交換を

月1回 ウイングルーフの自然降下[※]を確認

ウイングルーフを50cm上げて10分間放置し、10cm以上下降した場合はウイングルーフの自然降下です。自然降下が確認された場合はすみやかに修理をお願いします。



※自然降下の定義・確認方法、数値などは株式会社 トランテックス独自の見解であり、ボデーメーカー各社共通の要件ではありません。

年1回 オイル交換

油圧機構の寿命を延ばし、ウイングルーフの自然降下を防止するためにオイル交換を行いましょう。

ウイング車の安全な使用について詳しくはこちら
(トランテックスのホームページ)

